

マーケットの動き（2026年1月19日～1月23日）

先週の為替市場は、前週末比で米ドルは対円で上昇（円安）しました。

2月8日の衆院選を控え、与野党がともに消費税減税を公約に盛り込むとの見方から財政拡張懸念が強まり、円は売られました。週末の日銀金融政策決定会合では政策金利の据え置きが決まり、一時は1ドル＝159円台まで円安が進みましたが、日米協調での為替介入への警戒感が強まり、円買い・ドル売りが優勢となりました。

ユーロは前週末比、対円・対米ドルで上昇しました。

投資環境見通し（2026年1月）

円安の動きとなるも、米ドル、ユーロの円に対する上値はともに限定的

米ドル：日銀の利上げ姿勢にもかかわらず、財政に対する懸念を背景とした根強い円安圧力が続いています。しかし、FRB（米国連邦準備制度理事会）の利下げ姿勢が続くとみられることに加えて、為替レートの動向と水準次第では日米通貨当局が円安に対する警戒感を強める可能性もあり、ドルの円に対する上値は限定的とみています。

ユーロ：日銀の利上げ姿勢にもかかわらず、財政に対する懸念を背景とした根強い円安圧力が続いています。ECB（欧州中央銀行）の利下げサイクル終了はユーロ高要因とみられますが、為替レートの動向と水準次第では日米通貨当局が円安に対する警戒感を強める可能性もあり、ユーロの円に対する上値は限定的とみています。

	1月23日	変動幅（円）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
米ドル/円	158.12	0.06	1.73	11.70	1.95
ユーロ/円	185.90	2.63	1.75	14.09	23.53

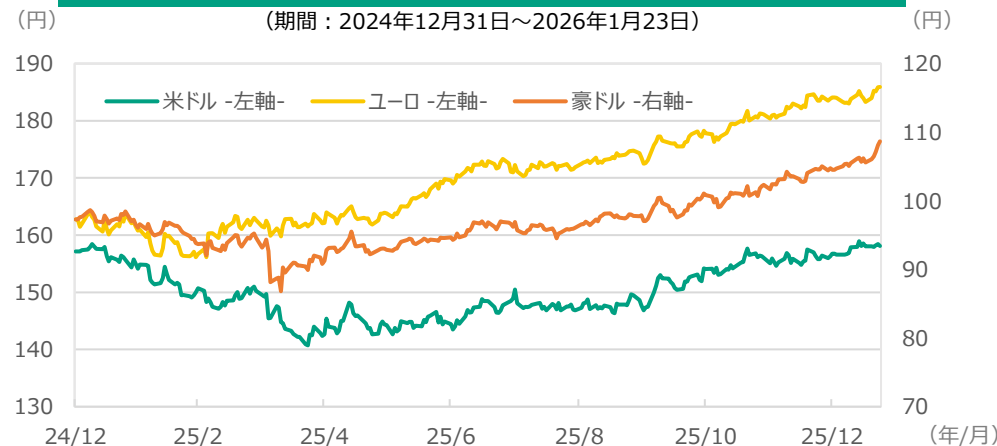
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日（休日の場合は前営業日）までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202601_outlook.pdf

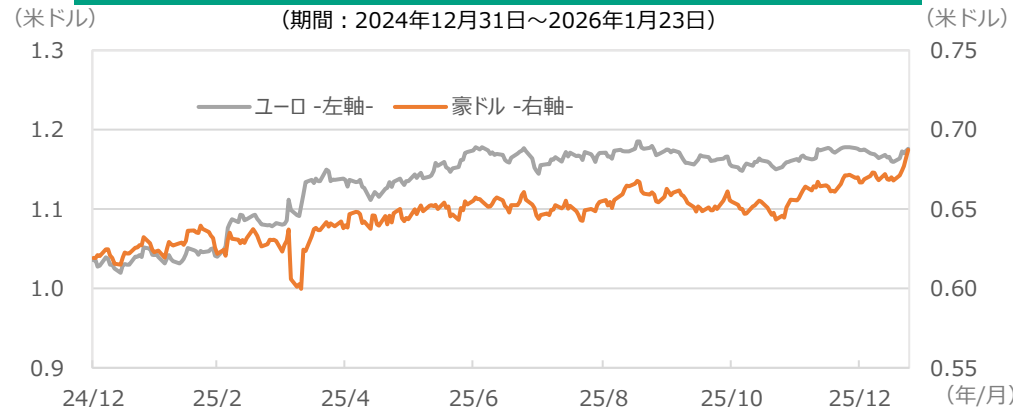
為替レートの推移（対日本円）

（期間：2024年12月31日～2026年1月23日）



為替レートの推移（対米ドル）

（期間：2024年12月31日～2026年1月23日）



※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客様の投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客様自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>